

第4章 事例集

事例目次

カテゴリ1 (No1~No10) : 地域活動.....ボランティア・祭りなど地域との交流

- No1 生活場面における動作指導により地域の集まりへの参加が増えた
- No2 バスの乗車練習をしたことで社会参加が拡大
- No3 近所の息子宅に行くことを目的に屋外活動を行い、QOL改善
- No4 COPD増悪にて離床困難から、強い責任感により役職復帰した
- No5 家族の協力のもと少林寺拳法教室が再開できた
- No6 進行性疾患により機能低下しながらも外出意欲を維持できた
- No7 活動を生活の中に落とし込んで地域の参加に繋がった
- No8 90歳代と高齢も趣味の再開を通し、社会との繋がりを再獲得
- No9 友人との山登りを目標とし、社会参加に至った
- No10 転倒多発が無くなり、サロン・老人会への参加ができるようになった

カテゴリ2 (No11~No34) : 外出.....買い物・食事・旅行など自分の満足に繋がるもの

- No11 本人に適した自主トレの獲得で、IADLが改善
- No12 具体的な旅行先を設定することで能力向上し達成できた
- No13 失語症に対して、ピアサポートを利用し、活動範囲を広げた
- No14 移乗への恐怖心の強い症例が車いすに乗車し花見にいった
- No15 強みに着目し、目標を達成したことで生活範囲が拡大
- No16 自宅に閉じこもりだったが通所リハの利用が出来るようになった
- No17 本人の目標がはっきりしていることで活動範囲が広がった
- No18 長期寝たきり生活から、通所介護の利用が出来た
- No19 主体的な発言を引き出し、目標以上の活動性を実現できた
- No20 訪問リハを通じ、同じ境遇の友人と定期的な外出に繋がった
- No21 本人の理解しやすい対応を行ったことにより、旅行に行けるようになった
- No22 聞き取りで、リハ目的を明確にしたことで1つ1つ獲得できるようになった
- No23 「春には桜が見に行きたい」が実現できた
- No24 唯一の日課であったウォーキングの再開が、生活の再構築に繋がった
- No25 自主訓練を中心とし、家族の支援により自主性が向上した
- No26 家族の強い協力により、遠方の母に会いに行くことが出来た
- No27 家族と他事業所との連携により、ドライブが出来るようになった
- No28 家族を巻き込んだ長期の関わりを通して外出する楽しみが増えた
- No29 孫と妻の協力で買い物・散歩・温泉に行けるようになった
- No30 ADL全介助レベルでも、家族とディズニーランドに行けた
- No31 旅行を視野に入れ生活範囲の拡大を図れた
- No32 旅行が達成できたことで毎年の継続が意欲に繋がった
- No33 施設内活動の向上を経て自宅への外出支援を行った
- No34 地域の社会資源を利用し、活動範囲の拡大に繋がった

カテゴリ3 (No35~No77) : 再開・開始(再)獲得.....仕事・趣味・役割など

- No35 骨折後、廃用症候群を予防し、能力の再獲得ができた
- No36 転倒を繰り返す進行性疾患患者の参加の継続を目指して
- No37 適切な負荷量の自主トレが自動車運転自立に繋がった
- No38 了解の得られた環境で活動を継続し、終了後も向上を認めた
- No39 以前の趣味を活用して新たなつながりを作った
- No40 料理動作を通して自身の役割を再認識できた
- No41 本人の意欲の高さで能力向上に繋げることができた
- No42 体力の向上により、自主的に離床する時間が増えた
- No43 退院後、自宅にて左上肢のみで調理を行っている
- No44 通所介護や家庭内での役割獲得に繋がった
- No45 セルフマネジメント能力強化により自信を持ち、活動に繋がった
- No46 機能面の向上が無くても身体能力に合った活動参加を獲得できた
- No47 不活動状態から転倒繰り返すも環境調整・動作練習にて能力改善
- No48 家庭内の役割の再獲得により、本人らしい生活を取り戻した
- No49 家族や通所リハのスタッフとの連携により住職への復帰を目指す
- No50 肩の痛み減少により、意欲的になり活発な日常を獲得
- No51 高次脳機能障害があるも実践の反復により生活活動範囲が拡大
- No52 脳梗塞後、集中的なリハビリテーション介入によりスポーツ復帰した
- No53 前向き思考で自主的な活動により参加が拡大
- No54 活動量を身体能力に合わせた指導により安心安全な生活を獲得
- No55 自殺企図が強かったが精神的支援、家族の協力により意欲的になった
- No56 うつ状態から興味ある活動を引き出し就労へと繋がった
- No57 就労支援事業所での交流により言語能力が向上
- No58 農作業を行うことで、作業自立度が上がり早く目標が達成できた
- No59 脳梗塞後に通勤、パソコンの練習により就労に繋がった
- No60 『趣味活動の再開』を目標としてから、意欲が高まり能力が向上した
- No61 寝たきりから ADL 向上し、趣味活動を再開した
- No62 趣味の畑仕事やテニスクラブに則したプログラムで目標獲得
- No63 農作業と買い物をつと協力してすすめ、海外へ行くまで目標が高まった
- No64 大好きなコースをプログラムに入れ、外部活動へと繋がった
- No65 高次脳機能障害支援センターとの連携により職場復帰に繋がった
- No66 妻の協力のもと住職復帰に向かって能力向上に繋がった
- No67 重度の深部感覚障害を持ちながらも畑作業が可能となった
- No68 構音訓練に対し、リハを行い趣味であったカラオケを再開できた
- No69 脊髄損傷がありながらも農作業が再開出来た
- No70 退院直後からの介入で円滑に以前の生活に戻る事が出来た
- No71 水墨画の作品展へ出展できるようになった
- No72 早期の転倒対策から調理練習に至るまで
- No73 臥床生活から主婦業や社会的交流の再開に繋がった
- No74 FSHD による障害をもちながら役割を持って自宅生活を継続
- No75 腰椎圧迫骨折後、カラオケを目的に活動範囲の拡大を図れた

No76 コミュニケーション環境を整え、趣味活動が再開できた

No77 代打オレ・草野球の試合出場が実現した

カテゴリ4 (No78~No93) : 給付抑制……………非該当・介護度軽減・サービス終了など

No78 屋外歩行訓練をきっかけに買物が自立し、訪問リハを卒業できた

No79 包括的なアプローチにより、目標を達成され介護度の改善が図れた

No80 本人・家族の希望を明確にしたことで主体的活動につながられた

No81 痛みが残存しているものの自己管理により社会参加ができた

No82 訪問リハの介入により日常的に外出する機会が増えた

No83 脳梗塞後、目標である自転車走行を獲得し訪問を卒業した

No84 状態の変化に合わせて介入し、活動の向上と社会参加へ繋がった

No85 シニアカーにて、屋外への外出が可能となった

No86 嚥下機能改善により食べる喜び・家族と過ごす楽しみを取り戻した

No87 入浴自立と買い物自立により訪問リハを卒業した

No88 左被殻出血・多発性硬化症と付き合いながら家事動作が自立した

No89 近所まで1人で買い物に行けるようになり、役割を再獲得した

No90 内向的な性格から積極的に外へ出る生活が出来るようになった

No91 転倒による自信喪失から回復し、サービス終了に繋がった

No92 目標を明確にすることで意欲的に取り組みサービス終了に至った

No93 仕事に対する意欲を活用して仕事再開し訪問リハ終了に繋がった

カテゴリ5 (No94~No102) : 幸福感の形成……………満足感・幸せなど本人家族の感情面

No94 不安感が強かったが、楽しんで過ごせる時間を作れるようになった

No95 息子の結婚式出席に合わせて、身辺動作の介助量軽減に繋がった

No96 精神面のサポートを担うことで、生活面の安定が図られた

No97 諦めから前向きな気持ちに変化し、生活内の質が変わってきた

No98 心理面に着目し家族旅行を目標に介入した

No99 家族の支援により、自宅復帰へと繋がった

No100 園芸活動を通して不安が軽減した

No101 自宅の清潔維持と体調管理に向けた行動変容に難渋している

No102 楽しみとしての経口摂取から3食経口摂取が可能となった

カテゴリ6 (No103~No112) : 他職種連携……………連携を図り対応した・達成したなど

No103 通所介護と連携し、交流のきっかけが増えた

No104 病院との連携でスムーズに在宅生活に戻った

No105 寝たきりで人工呼吸器管理下でも、メールや外出ができた

No106 回復期から訪問リハへ。生活環境アプローチにより活動へ繋がった

No107 多職種と連携しながら発声・発語、経口摂取を再開できた

No108 多職種連携により、味を楽しめるようになった

No109 1年半の独居を継続し、役割獲得、外出に繋がった

No110 多職種連携により緩和ケアを実践し、本人の希望に沿えた

No111 介護支援専門員との検討により、外出範囲の拡大に繋がった

No112 家族の協力によりお楽しみ経口摂取が開始・継続できている事例

カテゴリ7 (No113~No120) : 介護負担軽減・……………家族等の負担を減らすことが出来たなど

- No113 手工芸を通し離床、家族と過ごす時間が拡大し、介護負担が軽減した
- No114 近所の喫茶店まで歩いて行く事を目標としている
- No115 進行の状態に合わせ、自助具などを工夫し活動を維持できた
- No116 歩行に対する不安感が軽減して活動・参加に繋がった
- No117 高次脳機能障害と共に日々成長し続けている
- No118 癌の不安を抱えながら精神的フォローを行い、活動参加に繋がった
- No119 手指の巧緻性の改善により調理ができるようになった
- No120 生きる意欲を再構築した肺がん患者

カテゴリ8 (No121~No126) : 独居生活……………継続・獲得

- No121 自主性を尊重し、楽しみを持って介助なく独居生活を獲得した
- No122 一人暮らしであるがため、以前のように生活出来るようになった
- No123 意欲低下状態から自信を回復させ、一人暮らしが継続できた
- No124 閉じこもりから、転居をきっかけに買い物や通所への参加に繋がった
- No125 パーソナリティーや強みを考慮した様々な取り組みを行った
- No126 車いす-ベッド間の移乗が自立し、生活範囲が拡大した

カテゴリ9 (No127~No128) : ターミナル……………看取り・生活継続中

- No127 重度呼吸障害者の看取りに訪問リハで関わった
- No128 終末期を安心して家族とともに過ごすことができた

カテゴリ10 (No129~No130) : その他……………1～9に当てはまらない内容

- No129 地域を巻き込んだことで、活動・参加につながった
- No130 ケアマネとの連携で漫然としたリハを見直し介護負担軽減となった